

第3回10月 東大本番レベル模試 英語採点基準

【1】-A (10点満点)

【例1】

屋外から屋内で活動する種へ進化した人類にとっては室内環境が重要であるが、個々の要因が総合的に考えられていない。建物を健康的にすれば人間の健康も増進し、生産性も向上する。(84字)

【例2】

屋外から屋内の種へと進化してきた人間の健康に大きな影響を与える屋内環境を総合的に捉えようという努力はなされていない。建物を健全にすれば建物の中の人間はより健康で生産的になる。(87字)

必須項目 (10点)	<p>① 「人間は屋外の種から屋内の種へと進化してきた」(2点) Over several millennia, humans have evolved from an outdoor species into an indoor one. ▶ 「屋内の種へと進化」(evolve into an indoor species)に相当するものがないものは2点減点. ○ 「屋外の種から屋内の種になった」など、変化が示せていれば「進化」とみなす。 × 「屋内」だけで「種」がないものは「屋内の種へと進化」と認めない。 × 「インドア」は「屋内」と認めない。</p> <p>② 「我々の健康に最も大きな影響を与えるのは屋内環境である。屋内環境が我々の気持ちや能力に影響を与えるということを我々はみな知っているが、屋内環境を総合的にとらえようという努力はほとんどなされていない」(4点) ... yet it's the indoor environment that has the greatest impact on our health. At some level we all know that indoor environments influence how we feel and perform ... Yet, little effort has been made so far to piece them all together. ▶ 「屋内環境」(indoor environment)に相当するものがないものは2点減点. × 「環境」だけで「屋内」がないものは「屋内環境」と認めない。 ▶ 「総合的にとらえようという努力はほとんどなされていない」(little effort has been made to piece them all together)に相当するものがないものは2点減点. × little effort が否定だとわかっていないものは不可。</p> <p>③ 「建物を健全にすれば, その建物の中にいる人々をより健康で生産的にすることになる」(4点) So when we make our buildings healthy, we make the people in those buildings healthier and more productive. ▶ 「建物を健全にする」(make our buildings healthy)に相当するものがない場合は2点減点. × 「健全」だけで「建物」がないものは「建物を健全にする」と認めない。 ▶ 「より生産的」(more productive)に相当するものがない場合は2点減点.</p> <p>※必須項目が含まれていても、主旨が違うものには得点を与えない。</p>
---------------	---

- ① 内容の不足は上記配分で減点。内容の順序は問わない。
- ② その他、誤訳、不適切な表現は程度に応じて1～2点減点。
- ③ 字数制限を満たさないものは0点。

【1】－(B) (イ) (4点満点)

<問題>

下線部(イ)はどういう実験で何を実証したか、50字以内の日本語で説明せよ。

the experiment using a short film

<解答例>

3つの単純な図形が動き回る映像を見せ、被験者がそこに意図と物語を読み取ることを実証した。(44字)

<別解例>

人に大小2つの三角形と円の動画を見せて説明させると人は物語を作るということを実証した。(43字)

- ① 51字以上は0点。
- ② 次の(1)(2)が必須項目。

- (1) 「**2つの三角形と円が動く**映像を被験者に見せて、その映像を説明させる」に相当するもの(これがないものは**2点減点**)
 - 「単純な図形の動き」は「2つの三角形と円が動く」と認める。
 - × 「2つの三角形と円」だけで「動く/動き/動画」がないものは「2つの三角形と円が動く」と認めない。
- (2) 「人は単純な図形が動く映像を、社会的意図を持ったものの**物語**として説明せずにはいられないということを実証した」に相当するもの(これがないものは**2点減点**)
 - 「**物語**(story)に相当するものがあれば広く認める。
 - ※ 「意味や(動機や)感情を読み取る」、「意図[意思]があると解釈する[感じる]」などはstoryと認める。
 - 「話/ストーリー」は「物語」と認める。

※必須項目が含まれていても、主旨が違うものには得点を与えない。

【例1】

We are always threatened by natural disasters just because we are part of nature. Typhoons, hurricanes, and earthquakes are natural phenomena meant to balance the earth's temperature and energy. Epidemics occur just because germs or viruses need to survive. Just as every creature on earth consumes other creatures, germs and viruses feed on us. Nature doesn't care what we think of its workings. We just call what we consider a negative impact a "disaster" – or even "punishment." (77 語)

(私たちが常に自然災害の脅威にさらされている理由は、単に私たちが自然の一部だからだ。台風、ハリケーン、地震は、地球の温度とエネルギーのバランスを保つための自然現象である。疫病は、細菌やウイルスが生き延びる必要があるというだけの理由で発生する。地球上のすべての生き物が他の生き物を消費するように、細菌やウイルスも私たちが糧にしている。自然は、私たちがその働きをどう考えようと関知しない。私たちは、マイナスの影響と考えるものを「災害」、さもなくば「罰」とさえ呼んでいるだけなのだ)

【例2】

We should be humble toward nature. As we humans have been developing scientific technology, we have gained a society where we can have convenient lives. We sometimes can enjoy such benefits only by destroying nature. However, natural disasters, such as typhoons, earthquakes, and epidemics, remind us of the great power of nature that is beyond human knowledge. Exposed to such disasters, we are made to think about the importance of coexisting with nature rather than controlling it. (77 語)

(私たちは自然に対して謙虚であるべきだ。私たち人間は科学技術を発達させてきたのに伴い、便利な生活ができる社会を手に入れてきた。私たちは自然を破壊することによってのみ、その恩恵を受けられることもある。しかし、台風や地震、疫病などの自然災害は、人知を超えた自然の力の大きさを私たちに思い出させる。こうした災害にさらされることで、私たちは自然を制御するのではなく、自然と共存していくことの大切さを考えさせられるのだ)

【例3】

Natural disasters might be a necessary evil for us. Society faces various problems over time and becomes exhausted. In addition, it is difficult to change society once it has been established. History tells us that big earthquakes and serious epidemics have sometimes made people abolish the existing social systems and create new ones. While natural disasters cause us harm, they can offer us an opportunity to develop a new society. (70 語)

(自然災害は私たちにとって必要悪なのかもしれない。社会は時とともにさまざまな問題に直面し、疲弊していく。また、社会というものは、一度できあがってしまうと変えるのは難しい。歴史を見ると、大地震や深刻な疫病によって、人々が既存の社会システムを廃止し、新たな社会システムを生み出すことがあるとわかる。自然災害は私たちに被害をもたらす一方で、新しい社会を発展させる機会を与えてくれる可能性がある)

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。
2. 語数制限 (60～80 語) を満たさないものは**0点**。
3. 内容面で下記に該当するものは、それぞれ該当の点数を減点。

3. 内容

ポイント1 「人間はなぜ、台風、地震、疫病といった自然災害に、常にさらされなければならないのか？」 (6点)

- * 「人間はなぜ、台風、地震、疫病といった自然災害に、常にさらされなければならないのか？」に無関係なものは**6点減点**。
- * この問いに関係する事柄であれば、この問いへの直接の答えでなくてもよい。

ポイント2 「自然災害と人間の関係」 (6点)

- * 「自然災害と人間の関係」がないものは**6点減点**。
- * 自然災害と人間について触れているものは広く認める。
- * 論旨が一貫していないものは**3点減点**。

【2】－B (10点 [ア 4点, イ 6点])

(先に問題を見て下さい)

(ア)

【例 1】 The depths of natural beauty are not easy to reach and see.

【例 2】 The beauty of nature is so deep that you cannot easily understand everything about it.

(イ)

【例 1】 If nature were a thing you got tired of seeing in a year or two, art and science about nature would have ended thousands of years ago.

【例 2】 If nature was boring to us after one or two years of looking at it, we would have completed our exploration of art and science related to nature a few thousand years ago.

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。
2. 次の①～⑤の区分を目安に得点(各2点)を配分する。

(ア) (4点)

- ①「自然の美の奥行きは」(2点)
- ②「そう見すかされやすいものではない」(2点)

(イ) (6点)

- ③「[自然が] 一年や二年で見飽きるようなものであったら」(2点)
- ④「自然に関する芸術や科学は」(2点)
- ⑤「数千年前に完結してしまっているはずである」(2点)

【4】－A (2点×5=20点満点)

(ア) I

(イ) yourself

(ウ) but

(エ) rather / sooner

(オ) for / at / to / toward(s)

※スペルミスは不可(－2点)

【4】－B（ア）（4点満点）

<問題部分> 下線部(ア)を和訳せよ。

Insects possess a well-developed nervous system, brains included, that permits them to accomplish a number of sophisticated acts long thought reserved only for humans and other primates.

<例 1>

昆虫は、脳を含むよく発達した神経系を有しており、そのおかげで、長い間人間とその他の霊長類だけのものだと考えられていた非常に高度な活動を多数行うことができる。

<例 2>

昆虫は、脳を含め、非常に発達した神経組織があるために、人間などの霊長類にしかできないと長い間考えられていた、いくつかの複雑な行動を達成できるのである。

区分	配点	具体事例
Insects possess a well-developed nervous system 昆虫はよく発達した神経系を持っている	1点	×Insectsに「インセクト」は不可。
brains included 脳を含めて（脳も含まれているが）	1点	×独立分詞構文の挿入だとわかっていないものは不可。 ×includedを過去分詞以外ととっているものは不可。
that permits them to accomplish a number of sophisticated acts それら（＝昆虫）が多くの知的な行動をするのを可能にする（神経系）	1点	×thatがa well-developed nervous systemを先行詞とする主格の関係代名詞だとわかっていないものは不可。 ×themは「それら」でよいが、insects以外ととっているものは不可。
long thought reserved only for humans and other primates 人間や他の霊長類しか持っていないと長年考えられていた（多くの知的な行動）	1点	×long thought以下がa number of sophisticated actsを修飾していることがわかっていないものは不可。 ×onlyの訳抜けは不可。

- ① 上記の区分に分けて配点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B (イ) (4点満点)

<問題部分> 下線部(イ)を和訳せよ。下線部(イ)を訳す際には、they と one の内容が具体的にわかるように訳せ。

To say that they have more than one likely conjures up images of alien creatures.

<例 1>

昆虫は複数の脳を持っていると言うと、おそらく地球外生物の姿が心に浮かぶだろう。

<例 2>

昆虫が 2 つ以上の脳を持つと言ったら、きっと異星生物のイメージを思い起こさせるだろう。

区分	配点	具体事例
To say that ... …と言うことは	1 点	×that を代名詞ととっているものは不可。
they have more than one 昆虫は複数の脳を持っている	2 点	*they と one の内容を具体的に訳出していないものは不可 (-2 点) ×they を insects 以外ととっているものは不可。 ×one を one brain 以外ととっているものは不可。 ×more than one に「1 つ以上」は-1 点。
likely conjures up images of alien creatures. 地球外生物のイメージを想起させそうだ	1 点	×likely の訳抜けは不可。 ×conjures が述語動詞だとわかっていないものは不可。 ×alien creatures に「エイリアン」は不可。

- ① 上記の区分に分けて配点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（ウ）（4点満点）

<問題部分> 下線部(ウ)を和訳せよ。

Individuals within a group often display variability such that some are considered “smarter” than others

<例 1>

1つの集団内の個体はしばしば、ある個体が他の個体よりも「賢い」と見なされるような多様性を示す

<例 2>

ある集団内で、個体によって、より「賢い」と考えられるものとそうでないもの、というようなばらつきが現れることがよくある

区分	配点	具体事例
Individuals within a group (1つの) 集団内の (複数の) 個体	1点	×Individuals に「個人」は不可。
often display variability しばしば多様性を示す	1点	×Individuals(S) display(V)のSV関係がわかっていないものはこの区分で減点。 ×often の訳抜けは不可。
such that some are considered “smarter” than others 一部の個体が他の個体よりも「賢い」とみなされる というような[ように]	2点	×are considered ～ が「～と見なされる」(SVOC型 第5文型の受動態)だとわかっていないものは不可。

- ① 上記の区分に分けて配点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【5】－(A) (4点満点)

<問題>

下線部 (A) で「目をしばたいた」のはなぜか。考えられる理由を 30 字程度の日本語で説明せよ。

blinking

<解答例>

かわいかった幼児がすっかり変わってしまったことに戸惑ったから。(31 字)

<別解例>

娘の派手な化粧を見て、幼い頃の面影を見失い、ぼう然としたから。(31 字)

- ① 19 字以下または 41 字以上は 0 点。
- ② 次の (1) (2) (3) が必須項目。

(1) 「かわいかった」に相当するもの (これがないものは **2 点減点**)

※plump (ぽっちゃりした), tender (優しい), little (小さな) のいずれかの語に相当する内容があれば認める。

○ 「かわいかった」は「幼い頃の面影」でもよい。

(2) 「変わってしまった／見失った (lost sight of)」に相当するもの (これがないものは **1 点減点**)

(3) 「当惑した」に相当するもの (これがないものは **1 点減点**)

※「戸惑った／ぼう然とした／啞然とした／驚いた」など、「困惑」, 「戸惑い」に類する心情を広く認める。

※必須項目が含まれていても、主旨が違うものには得点を与えない。

【5】－(B) (3点満点)

<問題>

下線部 (B) を、You が誰かわかるように文脈に即して和訳せよ。

You can't afford to replace it.

<例1>

パパは、新しいのを買ってくれることはできないでしょう。

<例2>

お父さんに代わりのもので買おう余裕はないんだから。

次の区分に分けて配点する。(加点法ではなく**減点法**で採点してください)

区分	配点	具体事例
You パパは	1点	×Youに「あなた」(具体化していないもの)は不可。
can't afford to ~ ~する余裕はない	1点	○「買えない」は「~する余裕はない」と認める。 ○「~する金がない」は「~する余裕はない」と認める。
replace it. 新しいものを買う	1点	×itをmy stuff(私の(洗濯)物[(衣)服])以外ととっているものは不可。

- ・各区分の配点を超えて減点しない。
- ・句読点は不問。